

第Ⅲ部 調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているので、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。

第1章 くらし全般について【問1～問5】

1 生活総合満足度【問1】

【全体の状況】

現在の生活全般についてどの程度満足しているか尋ねたところ、「たいへん満足している」(5.3%)と「どちらかといえば満足している」(45.5%)を合わせた《満足している》は50.9%であった。

一方、「たいへん不満である」(5.5%)と「どちらかといえば不満である」(16.1%)を合わせた《不満である》は21.6%で、《満足している》が《不満である》を29.3ポイント上回った。

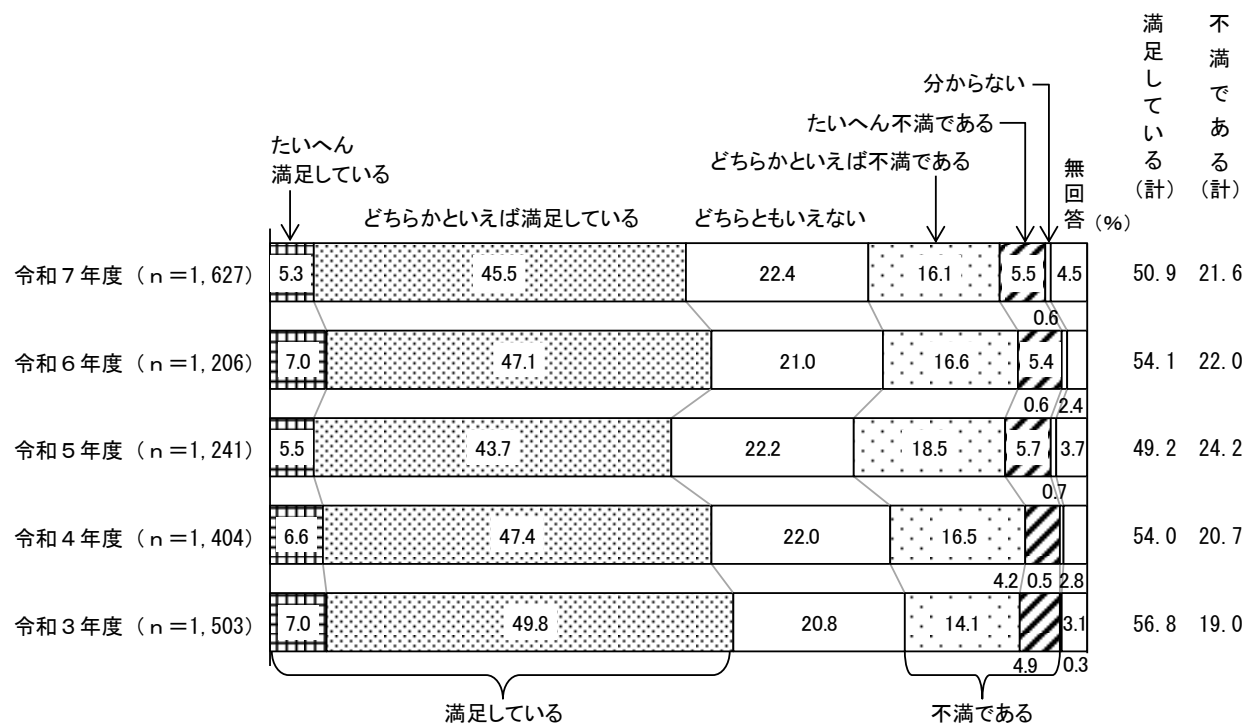
また、「どちらともいえない」は、22.4%であった。(図表1-1-1)

【過去との比較】

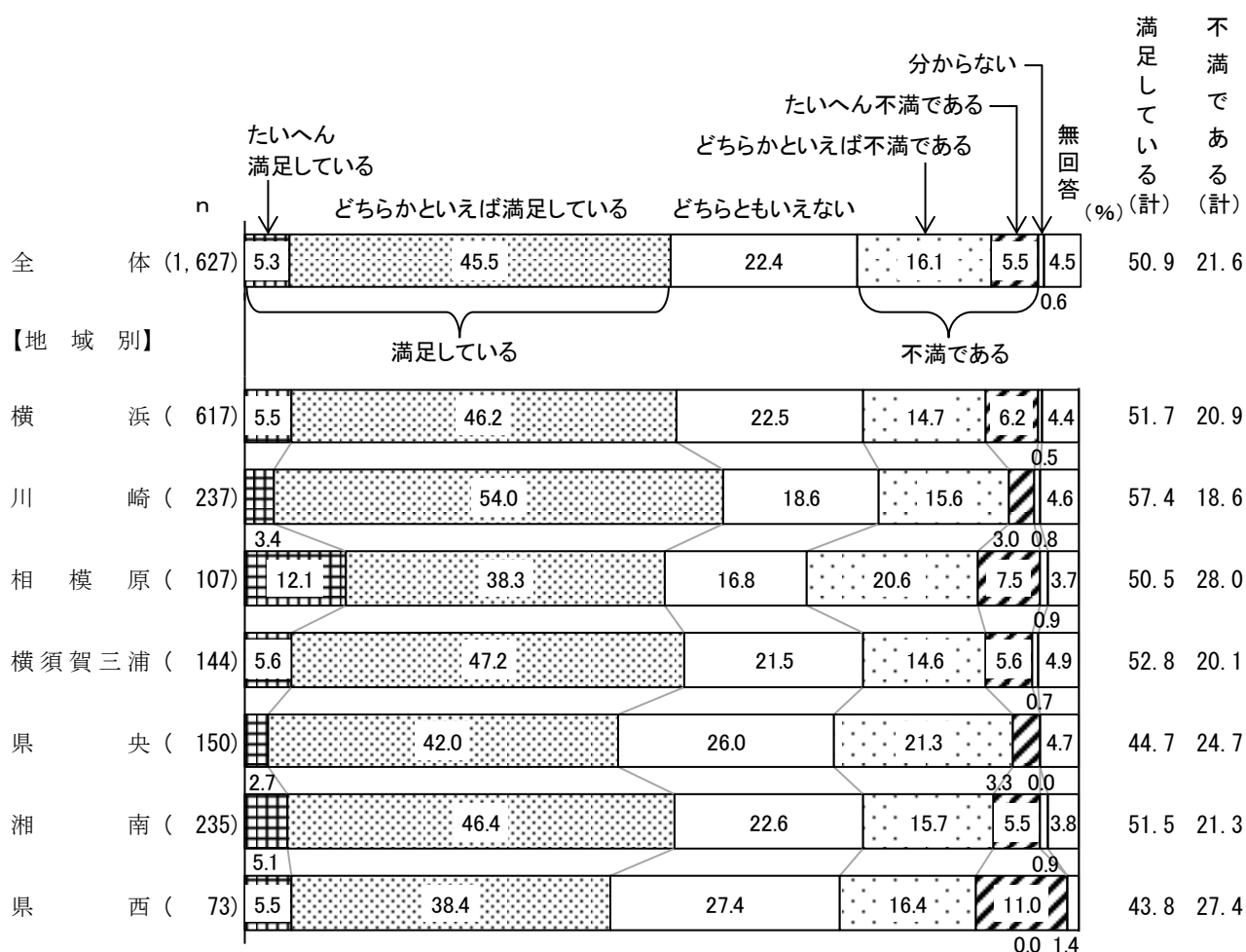
過去の調査と比較すると、《満足している》では、令和6年度は令和5年度と比べて4.9ポイント増(49.2%→54.1%)で、令和7年度は令和6年度と比べて3.2ポイント減(54.1%→50.9%)となった。

一方、《不満である》では、令和6年度は令和5年度と比べて2.2ポイント減(24.2%→22.0%)で、令和7年度は令和6年度と比べて0.4ポイント減(22.0%→21.6%)となった。(図表1-1-1)

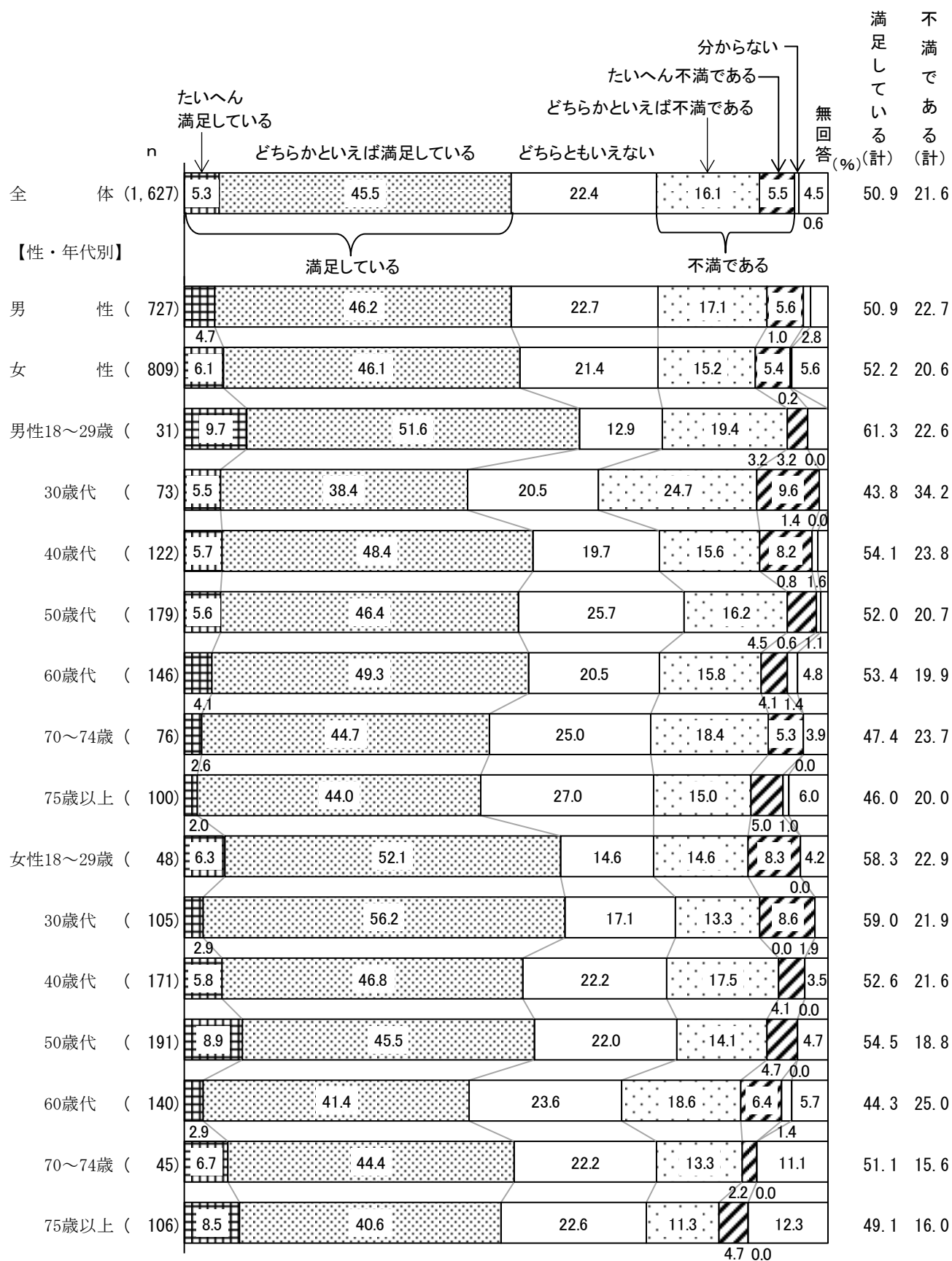
図表1-1-1 生活総合満足度－過去との比較



図表1-1-2 生活総合満足度－地域別



図表1-1-3 生活総合満足度－性・年代別



2 くらし向きの変化【問2～問2－1】

【全体の状況】

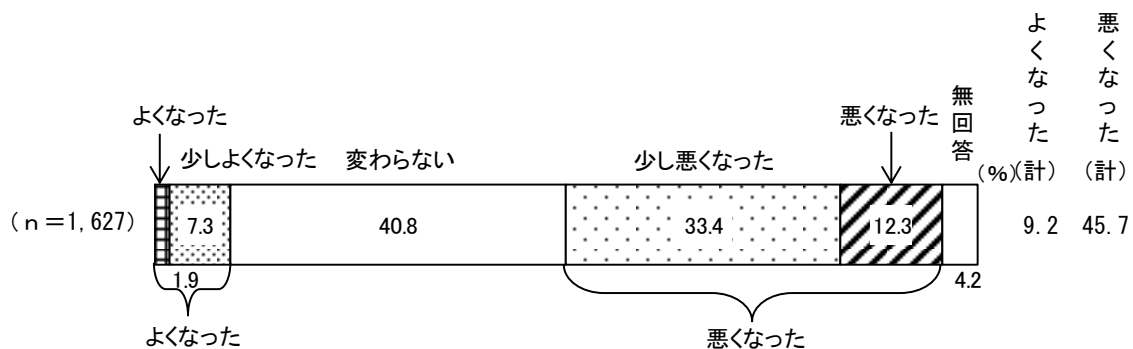
昨年の今頃と比較した現在のくらし向きの変化について尋ねたところ、「よくなった」(1.9%)と「少しよくなった」(7.3%)を合わせた《よくなった》は9.2%であった。

一方、「悪くなった」(12.3%)と「少し悪くなった」(33.4%)を合わせた《悪くなった》は45.7%で、《悪くなった》が《よくなった》を36.5ポイント上回った。

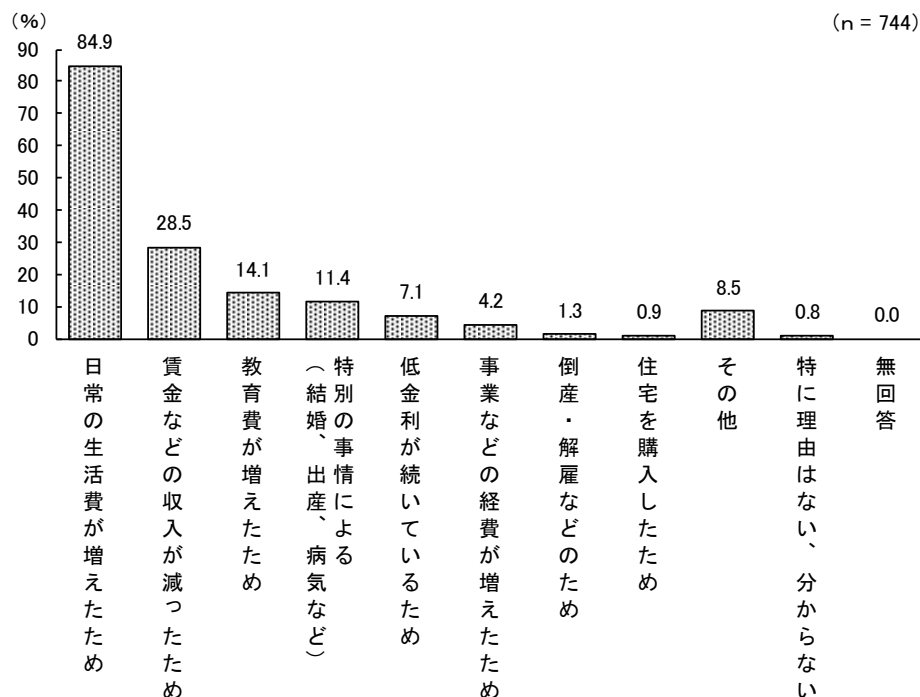
また、「変わらない」は、40.8%であった。(図表1-2-1)

くらし向きが《悪くなった》と回答した744人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「日常の生活費が増えたため」が84.9%で最も多く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が28.5%であった。(図表1-2-2)

図表1-2-1 くらし向きの変化



図表1-2-2 くらし向きが悪くなった理由(複数回答)

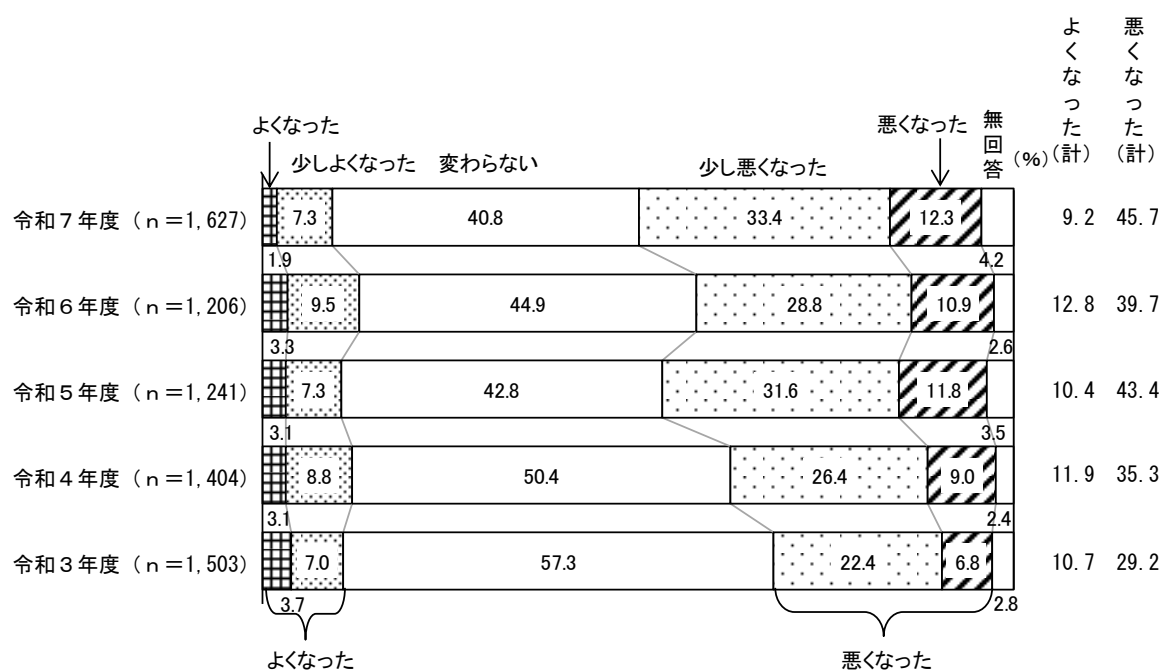


【過去との比較】

くらし向きの変化を過去の調査と比較すると、《よくなった》は、令和6年度は令和5年度と比べて2.4ポイント増（10.4%→12.8%）で、令和7年度は令和6年度と比べて3.6ポイント減（12.8%→9.2%）となった。

一方、《悪くなった》は、令和6年度は令和5年度と比べて3.7ポイント減（43.4%→39.7%）で、令和7年度は令和6年度と比べて6.0ポイント増（39.7%→45.7%）となった。（図表1-2-3）

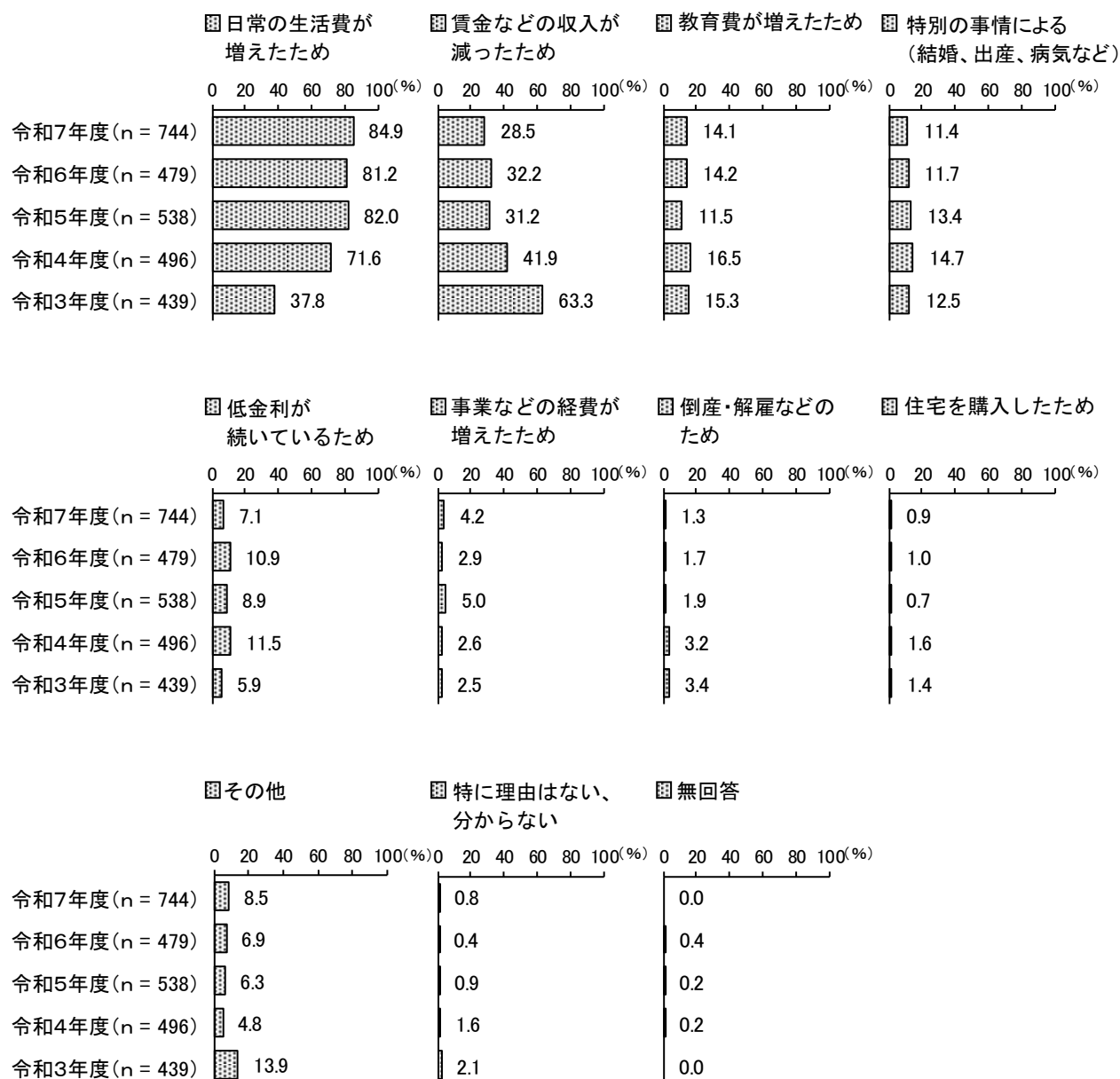
図表1-2-3 くらし向きの変化－過去との比較



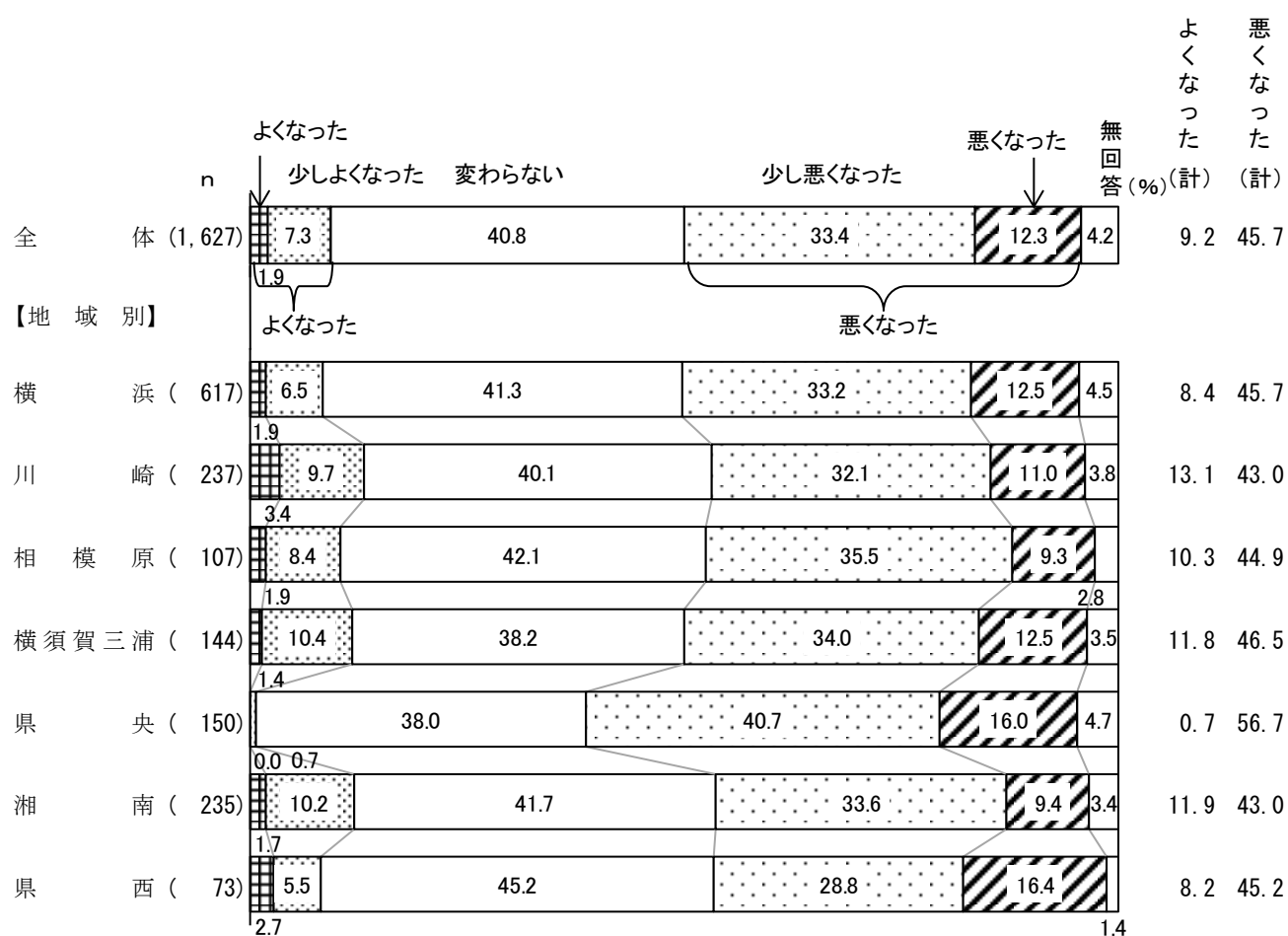
くらし向きが《悪くなった》理由を過去の調査と比較すると、「日常の生活費が増えたため」は、令和6年度と比べて3.7ポイント増（81.2%→84.9%）となり、最も増加した項目であった。

一方、「低金利が続いているため」は、令和6年度と比べて3.8ポイント減（10.9%→7.1%）となり、最も減少した項目であった。（図表1-2-4）

図表1-2-4 くらし向きが悪くなった理由（複数回答）－過去との比較



図表1-2-5　くらし向きの変化―地域別

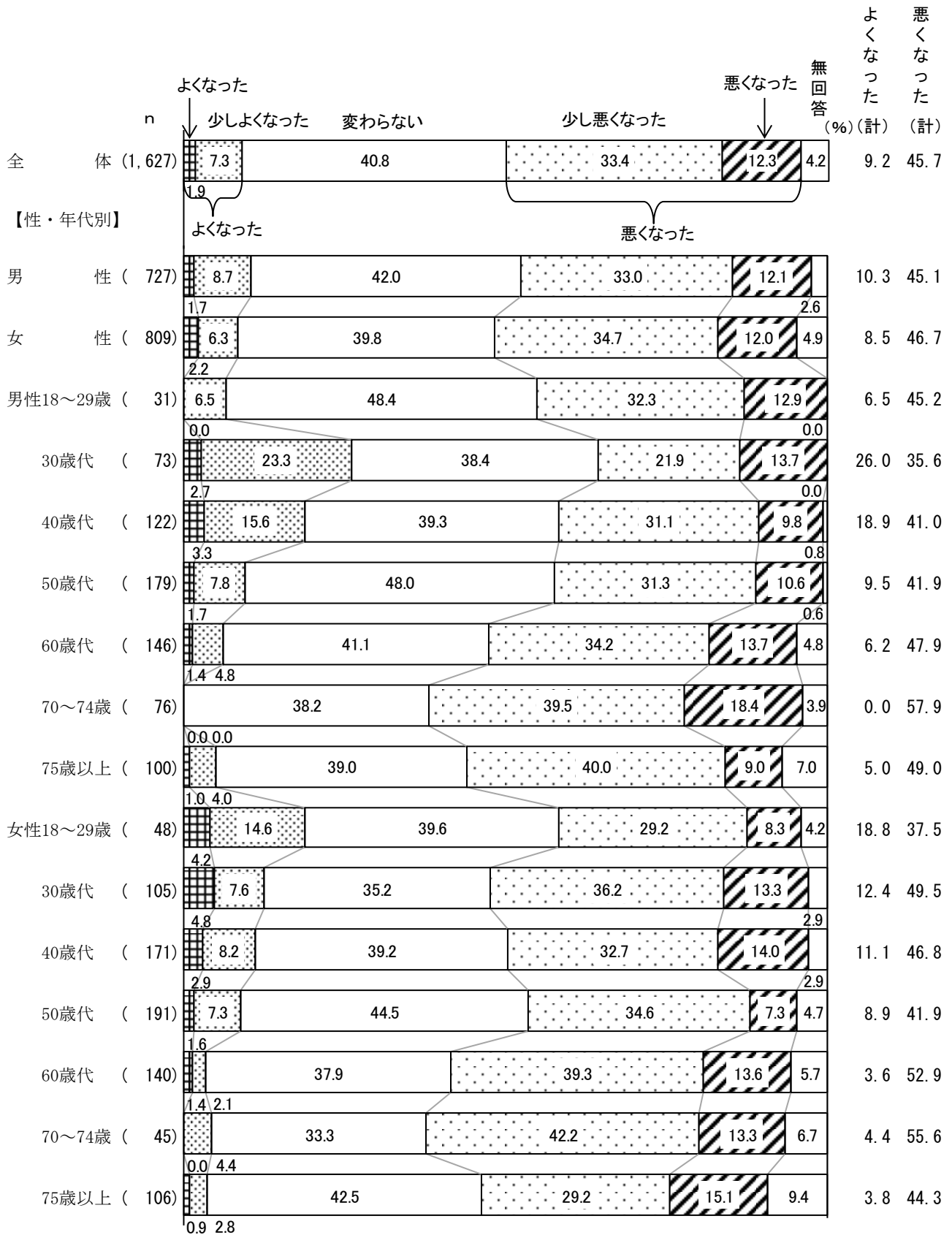


図表1-2-6 くらし向きが悪くなった理由（複数回答）－地域別

(%)

	n	日常の生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	教育費が増えたため	産、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	744	84.9	28.5	14.1	11.4	7.1	4.2	1.3	0.9	8.5	0.8	－
【地 域 別】												
横 浜	282	85.5	31.2	11.3	13.5	7.8	5.7	1.4	1.4	8.2	0.4	－
川 崎	102	90.2	24.5	18.6	8.8	4.9	3.9	2.0	－	8.8	－	－
相 模 原	48	89.6	27.1	12.5	10.4	8.3	4.2	－	－	10.4	2.1	－
横 須 賀 三 浦	67	86.6	22.4	22.4	11.9	6.0	1.5	－	1.5	7.5	3.0	－
県 央	85	83.5	30.6	14.1	8.2	2.4	4.7	1.2	－	10.6	－	－
湘 南	101	80.2	25.7	13.9	13.9	10.9	1.0	2.0	1.0	5.0	1.0	－
県 西	33	78.8	33.3	9.1	9.1	12.1	3.0	3.0	－	9.1	3.0	－

図表1-2-7 くらし向きの変化－性・年代別



図表1-2-8 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－性・年代別

（％）

	n	日常の生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	教育費が増えたため	産、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	744	84.9	28.5	14.1	11.4	7.1	4.2	1.3	0.9	8.5	0.8	－
【性・年代別】												
男 性	328	84.1	31.7	12.2	9.5	7.6	5.5	1.8	0.9	8.8	1.5	－
女 性	378	86.5	25.7	16.4	13.5	6.9	2.9	1.1	0.5	7.4	0.3	－
男性 18～29歳	14	71.4	21.4	7.1	14.3	－	－	－	－	21.4	14.3	－
30 歳 代	26	88.5	26.9	30.8	3.8	－	7.7	－	3.8	11.5	－	－
40 歳 代	50	88.0	32.0	22.0	8.0	6.0	6.0	6.0	4.0	10.0	－	－
50 歳 代	75	82.7	28.0	24.0	8.0	5.3	8.0	4.0	－	6.7	－	－
60 歳 代	70	82.9	44.3	2.9	11.4	11.4	8.6	－	－	7.1	1.4	－
70～74歳	44	93.2	36.4	－	4.5	13.6	－	－	－	6.8	2.3	－
75歳以上	49	77.6	20.4	－	16.3	8.2	2.0	－	－	10.2	2.0	－
女性 18～29歳	18	88.9	33.3	5.6	11.1	5.6	－	－	－	－	－	－
30 歳 代	52	86.5	34.6	17.3	17.3	3.8	3.8	1.9	1.9	9.6	－	－
40 歳 代	80	85.0	21.3	40.0	8.8	2.5	1.3	1.3	－	13.8	－	－
50 歳 代	80	85.0	30.0	25.0	15.0	6.3	2.5	1.3	1.3	2.5	1.3	－
60 歳 代	74	89.2	29.7	－	14.9	6.8	2.7	－	－	6.8	－	－
70～74歳	25	88.0	16.0	－	12.0	12.0	12.0	－	－	4.0	－	－
75歳以上	47	85.1	10.6	－	14.9	14.9	2.1	2.1	－	6.4	－	－

3 今後の暮らし向きの見通し【問3】

【全体の状況】

今後の暮らし向きの見通しを尋ねたところ、「明るい」(3.0%)と「やや明るい」(8.8%)を合わせた《明るい》は11.8%であった。

一方、「暗い」(11.2%)と「やや暗い」(32.9%)を合わせた《暗い》は44.1%となり、《暗い》が《明るい》を32.3ポイント上回った。

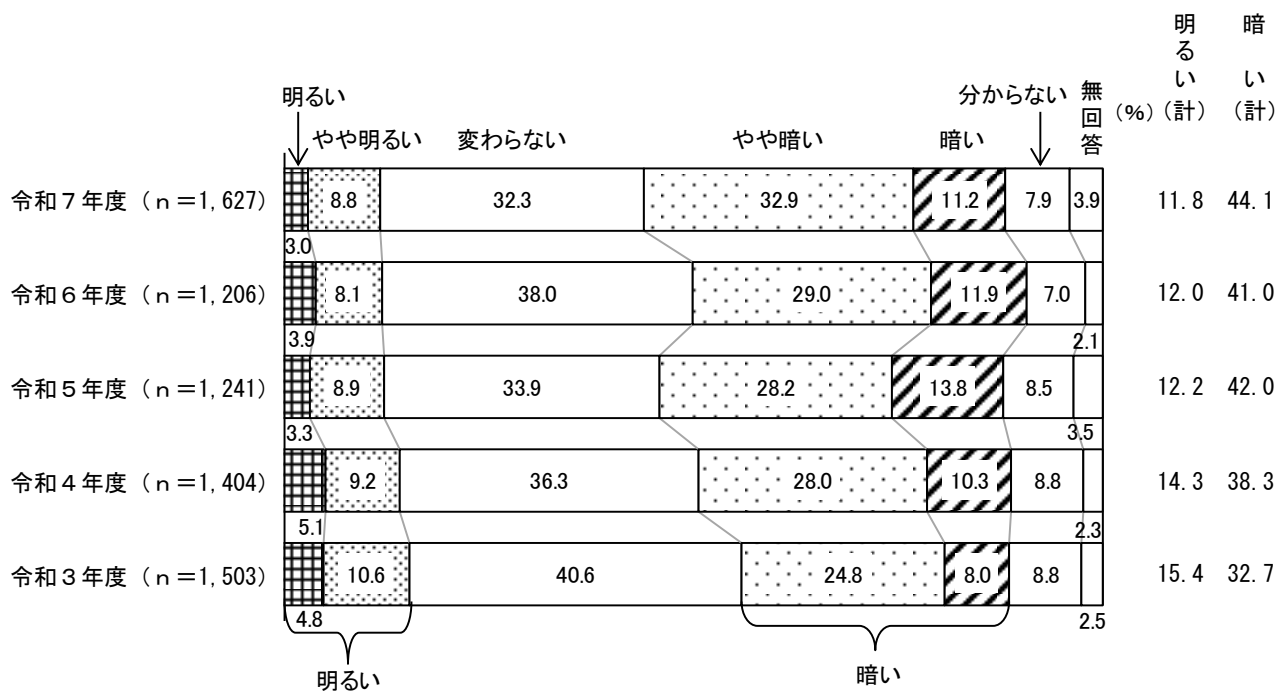
また、「変わらない」は、32.3%であった。(図表1-3-1)

【過去との比較】

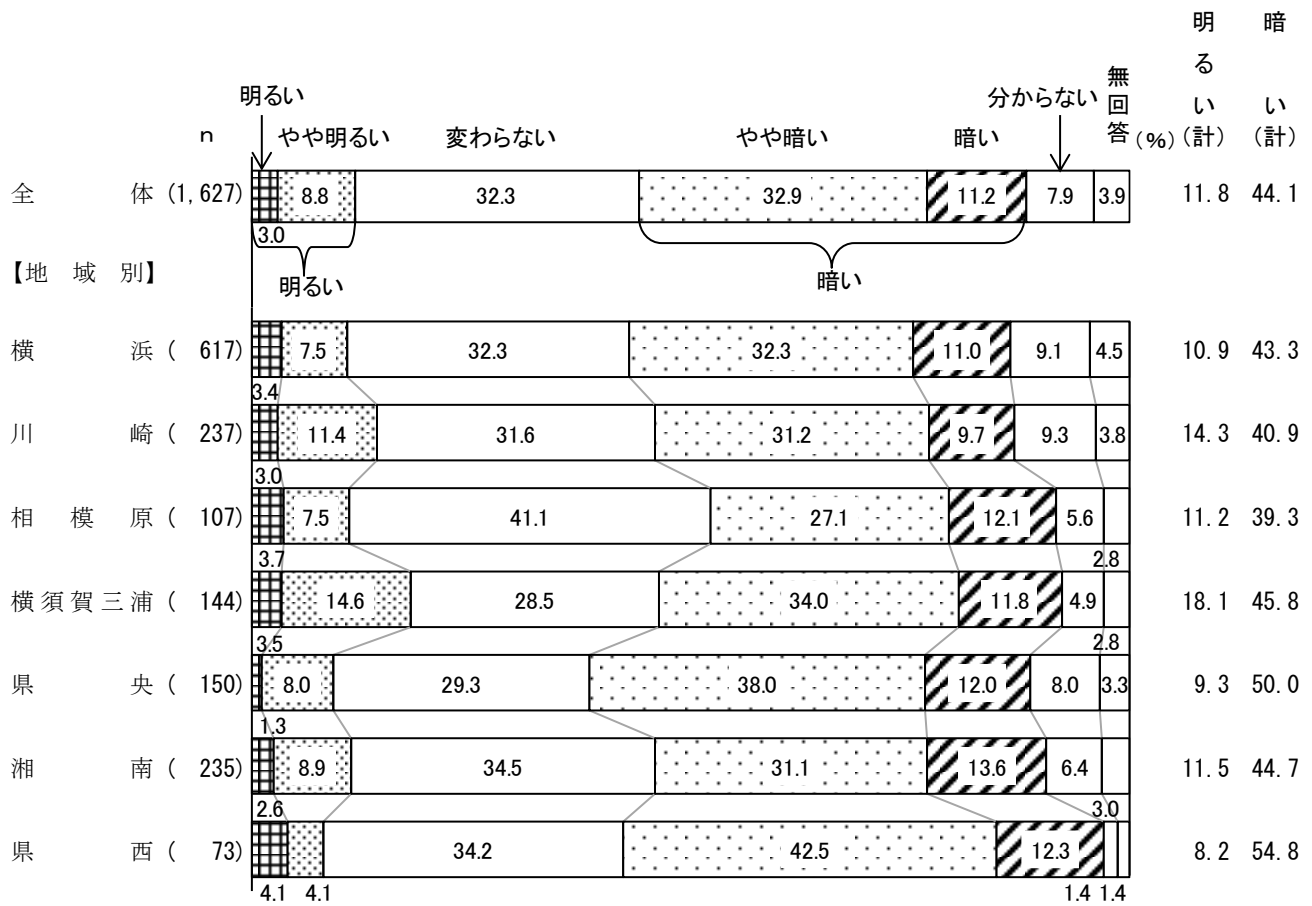
過去の調査と比較すると、《明るい》は、令和6年度は令和5年度と比べて0.2ポイント減(12.2%→12.0%)で、令和7年度は令和6年度と比べて0.2ポイント減(12.0%→11.8%)となった。

一方、《暗い》は、令和6年度は令和5年度と比べて1.0ポイント減(42.0%→41.0%)で、令和7年度は令和6年度と比べて3.1ポイント増(41.0%→44.1%)となった。(図表1-3-1)

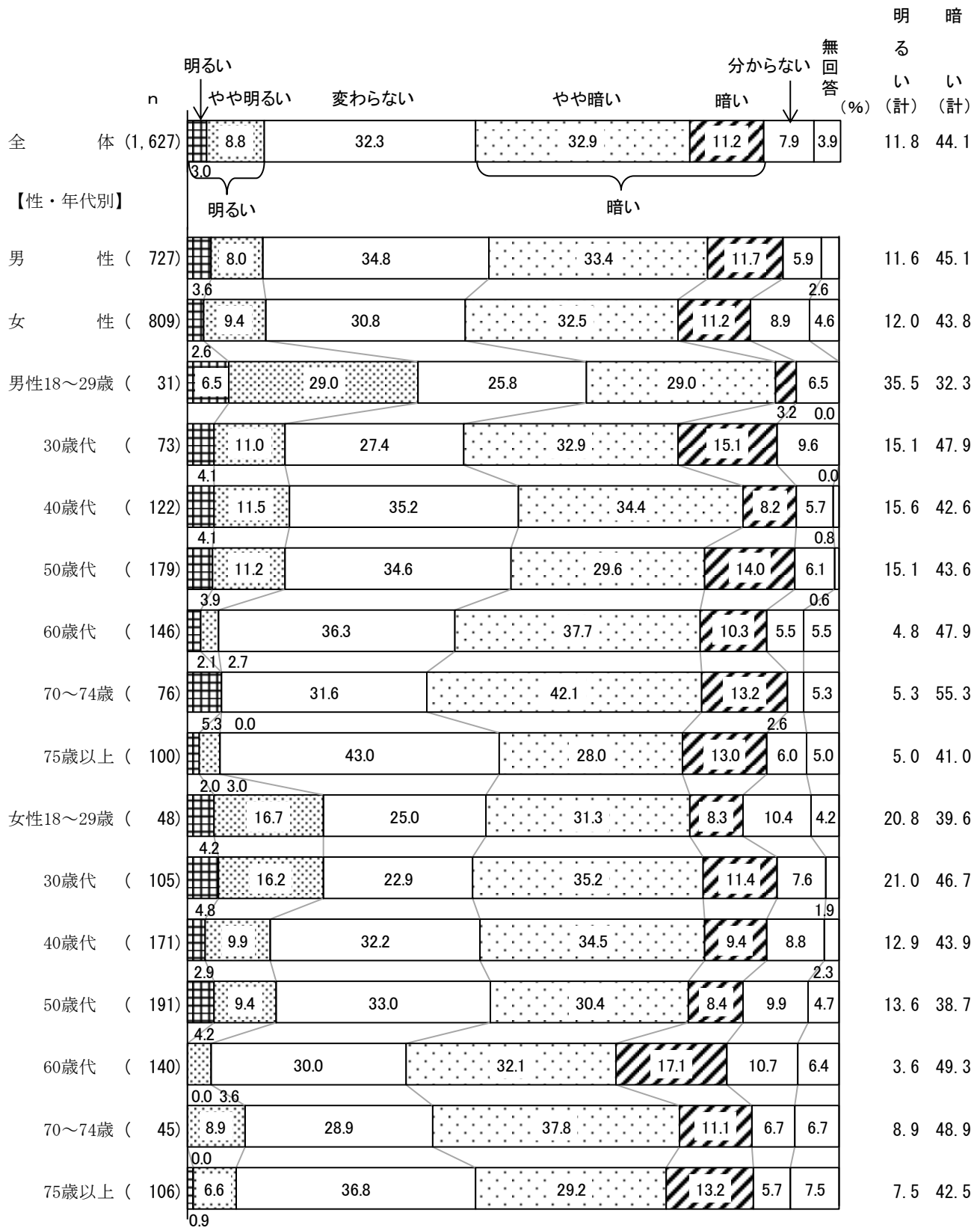
図表1-3-1 今後の暮らし向きの見通しー過去との比較



図表1-3-2 今後のくらし向きの見通しー地域別



図表1-3-3 今後のくらし向きの見通し一性・年代別



4 地域の住みよさ【問4】

【全体の状況】

現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねたところ、「たいへん住みよい」(16.0%)と「どちらかといえば住みよい」(56.9%)を合わせた《住みよい》は73.0%であった。

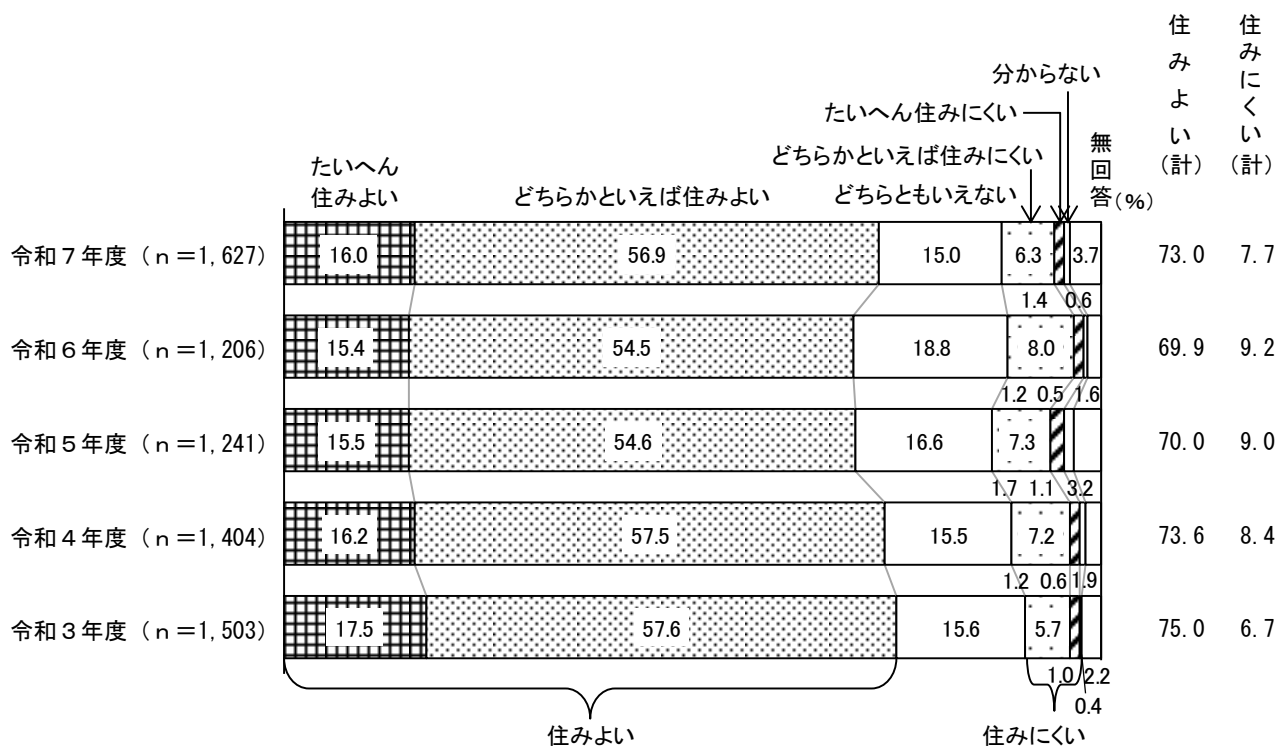
一方、「たいへん住みにくい」(1.4%)と「どちらかといえば住みにくい」(6.3%)を合わせた《住みにくい》は7.7%で、《住みよい》が《住みにくい》を65.3ポイント上回った。(図表1-4-1)

【過去との比較】

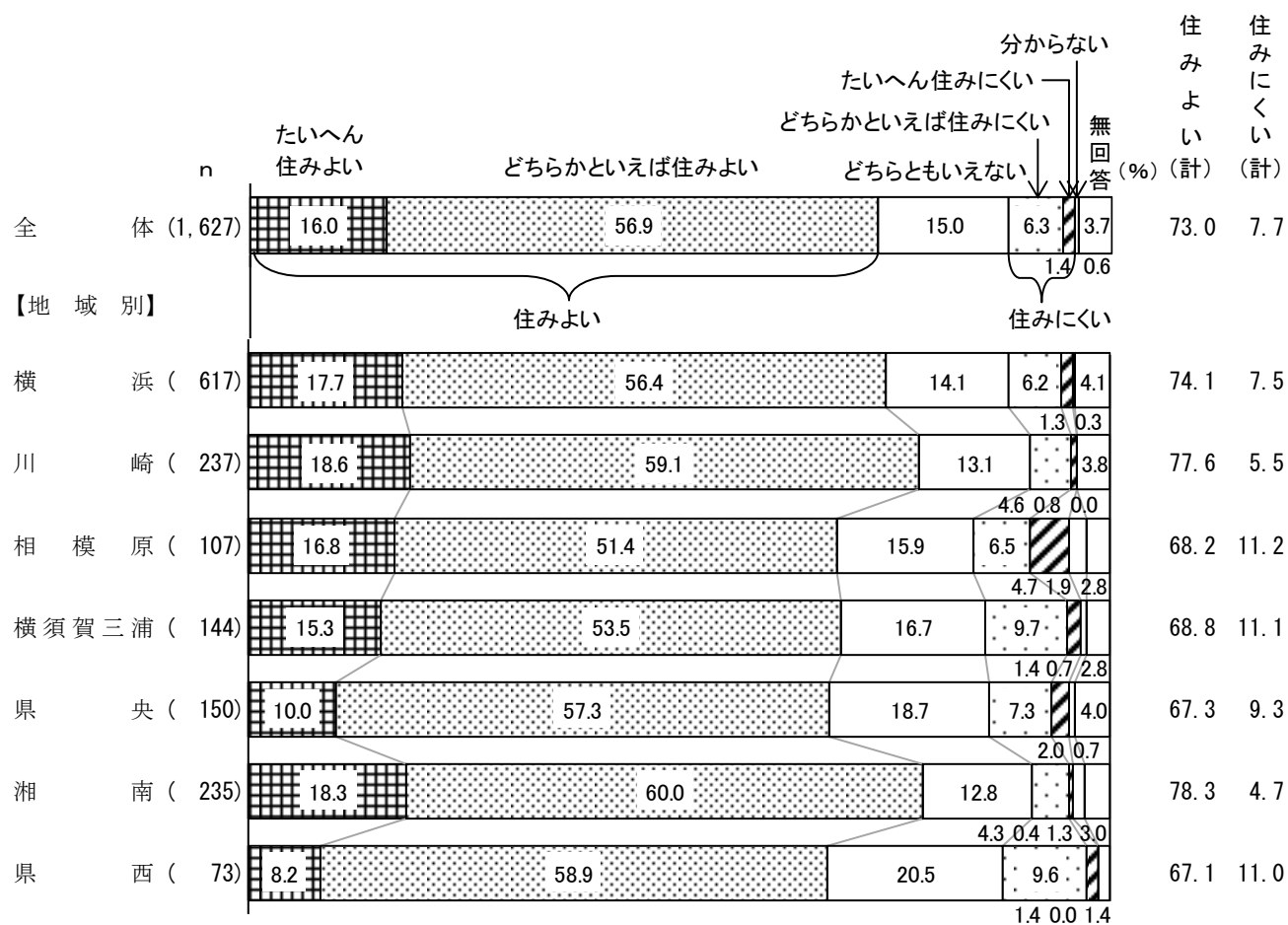
過去の調査と比較すると、《住みよい》は、令和6年度は令和5年度と比べて0.1ポイント減(70.0%→69.9%)で、令和7年度は令和6年度と比べて3.1ポイント増(69.9%→73.0%)となった。

一方、《住みにくい》は、令和6年度は令和5年度と比べて0.2ポイント増(9.0%→9.2%)で、令和7年度は令和6年度と比べて1.5ポイント減(9.2%→7.7%)となった。(図表1-4-1)

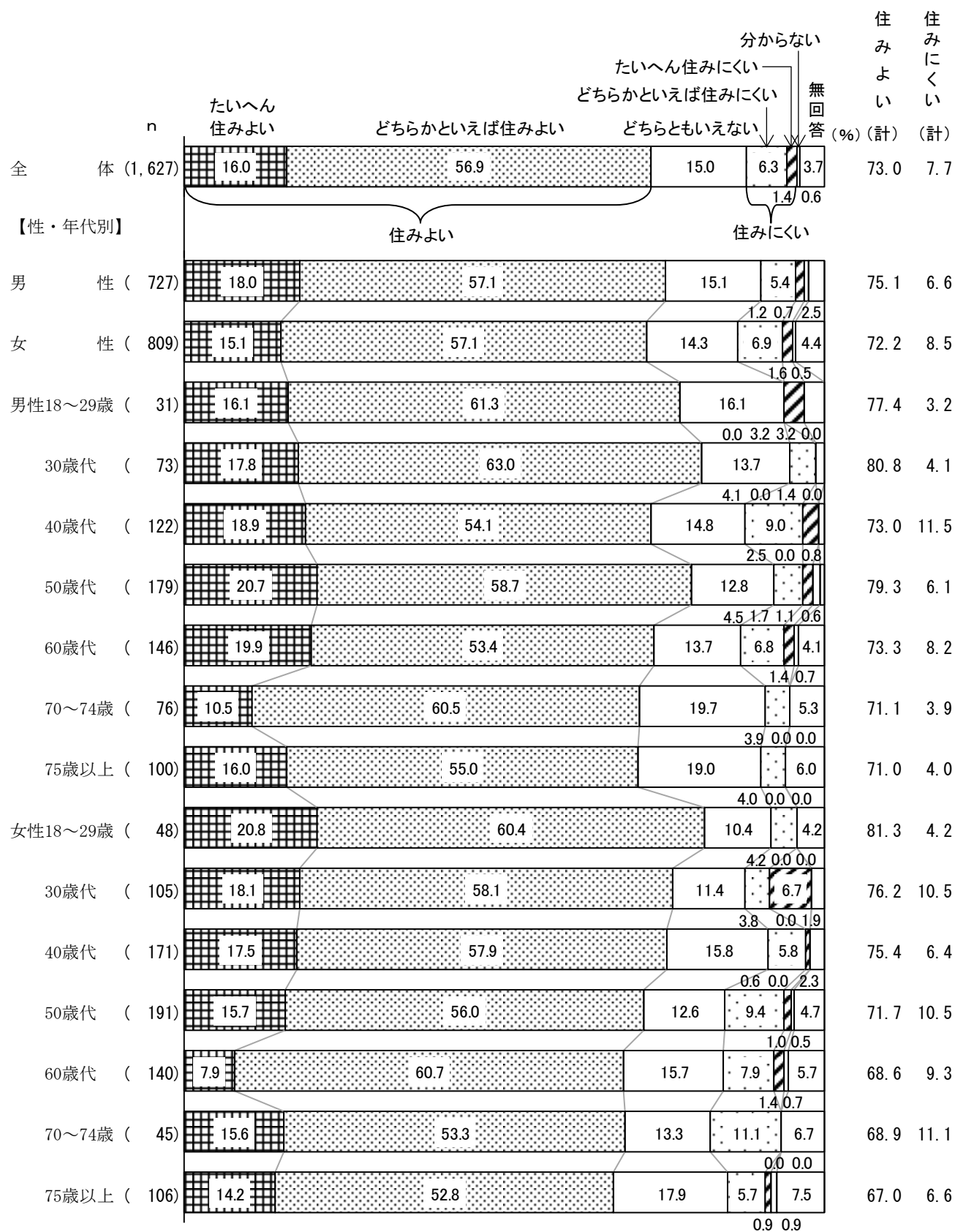
図表1-4-1 地域の住みよさー過去との比較



図表1-4-2 地域の住みよさー地域別



図表1-4-3 地域の住みよさー性・年代別



5 定住意向【問5】

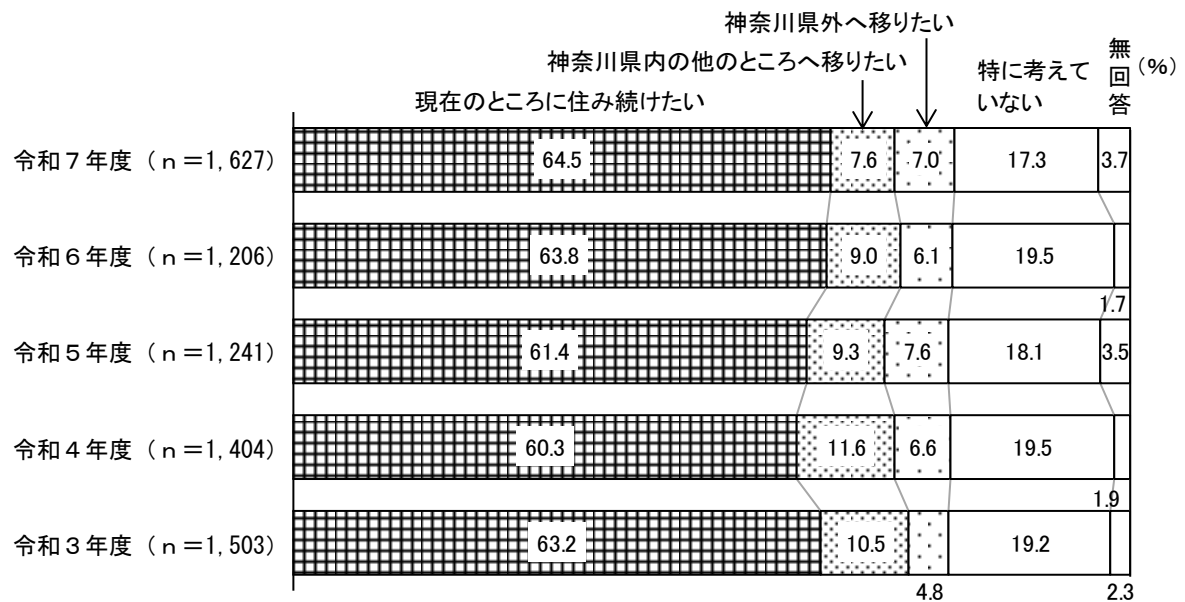
【全体の状況】

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が64.5%で最も多かった。また、「神奈川県外へ移りたい」は、7.0%であった。（図表1-5-1）

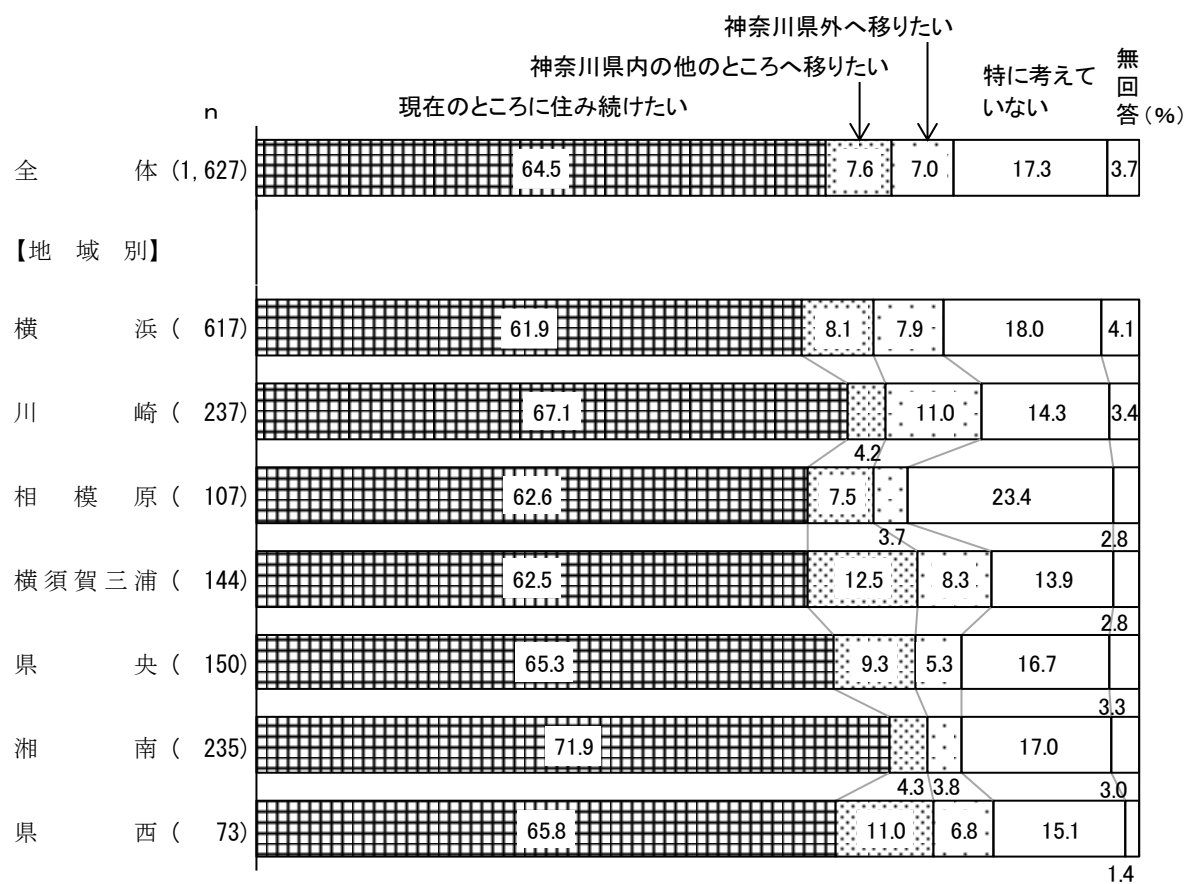
【過去との比較】

過去の調査と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は、令和6年度は令和5年度と比べて2.4ポイント増（61.4%→63.8%）で、令和7年度は令和6年度と比べて0.7ポイント増（63.8%→64.5%）となった。（図表1-5-1）

図表1-5-1 定住意向－過去との比較



図表1-5-2 定住意向－地域別



図表1-5-3 定住意向－性・年代別

